

Alternative
Space

2025

7.8 火 — 7.27 日

〈火〜土〉9:30-19:00 〈日〉9:30-17:00

月曜休館

名古屋市民ギャラリー栄
次世代アーティスト企画展

Project Space
hazi

「ぼくたちのスーベニア」

場七

「斑点を結ぶ」

市民ギャラリー栄 7階 3展示室

名古屋市中区栄四丁目1番8号 中区役所平和不動産共同ビル

Access

地下鉄東山線・名城線「栄」下車 12番出口東へ徒歩1分
市バス「栄」下車 徒歩5分

入場無料

Iwakura
Aichi

社会の多様化が加速度的に進むなかで、公共施設としての市民ギャラリー栄の役割も、今まさに新たな局面を迎えていると認識しています。第4回を迎える次世代アーティスト企画展では、これまでの積み重ねの中から、少しずつではありますが、新たな表現の芽が確かに育ち始めています。今回も、未来を担うアーティストたちとともに、企画性の高い展覧会を開催できることを心より嬉しく感じています。今後も、アートを通じて未来へとつながる創造的なネットワークが、この市民ギャラリー栄から広がっていくことを心から願っております。

—— 市民ギャラリー栄 館長 宮田健

Barrackの3回目のディレクションによる本企画展ではProject Space hazi、場七という二つのオルタナティブスペースの紹介をしたい。岩倉市で拠点を構える両スペースはただの共同アトリエではない。haziは愛知に留まらず県外、海外からもアーティストを招聘し滞在制作や発表の場を提供したりアーティスト同士の交流を図る活動をしている。そのhaziの主宰でもあるコーディネーターの大野高輝の協力の元2024年に同じく岩倉に出来たのが場七である。場七はhaziとは違いアーティストの理論と実践の場である(たぶん)。始動してからまだ1年と活動内容自体が薄めではあるが、本企画が今後の展開の布石になっていけばと思う。

市民ギャラリー栄というメインストリームでオルタナティブとしてどのような展開をして、今後どのような活動をしていくのかを見守りたいと同時に、愛知/東海地方のオルタナティブスペースのあり方を探る機会になればとても意義のある企画になるのではないと思う。

—— Art Space & Cafe Barrack 古畑大気

ディレクション | Art Space & Cafe Barrack

主催 | 財団法人 名古屋市民文化振興事業団 [市民ギャラリー栄]

Project
Space
hazi

Art Space & Cafe
Barrack



Website



Project Space hazi

Alternative
Space

Iwakura
Aichi

「ぼくたちのスーベニア」

参加作家

入江早耶、エリオット・ヘイグ+澤田奈々、澤谷香凜、繁、下浦萌香、五月女かおる
高梨麻梨香、田上碧、田村久留美、田村友一郎、ダンゴムシSTUDIO
中崎由梨、中野岳、ノセレーナ、福田良亮、福永みくら、森田明日香、湯浅要
横内賢太郎、Yuki Jungesblut

企画説明

スーベニア(お土産)は本来、旅行先での経験や物語を凝縮した「欠片」であり、思い出の拠り所となります。私たちはフとそれを見た時に、旅先での思い出を思い出すことでしょうか。また、アーティストにとって旅行をリサーチと呼ぶことがあります。それはただの資料集めではなく、その場所の文化、歴史、自然、人々との深い関係性を構築するプロセスです。
この展覧会では、国内外のアーティストたちが訪れた地で購入、もしくは自ら作った「スーベニア」を展示します。それぞれの「スーベニア」を通して、まだ行ったことのない土地や、新たな文化に思いを馳せるきっかけとなるでしょう。

haziとは

Project Space haziは企画展やアーティスト・イン・レジデンスプログラムをベースとした文化センターです。現代において最も重要で刺激的なアーティストの試みを共に実践していきます。
また、アーティストと鑑賞者、それぞれの立場による新たな芸術的価値の探求を行っていきます。



場七

Alternative
Space

Iwakura
Aichi

「斑点を結ぶ」

参加者

玉田大和、大野高輝、森田健、林亮太、杉山仁彦
新川未悠、平岡真生、荻野斗樹 ほか

企画説明

場七は、本展が開催される2025年7月に一周年を迎えます。若手アーティストを中心に各々の関心と実践を持ち寄る場として運営されてきたこの場所は、個人の延長としての集団のあり方を模索する中で、メンバーの私的な提案によるイベントの実施や、「部活」という形態をとっている。
『斑点を結ぶ』は、場七という場所を周知してもらうと同時に、我々自身が場七やそこに出入りする人々の姿を捉える機会として、メンバー個人による作品と、それぞれが主催する部活単位での発表によるグループ展を行います。これまで民家の一室を通して実践してきた場七が展示スペースである市民ギャラリー栄に赴き、斑点である我々を結ぶことで浮かび上がる場七の輪郭をぜひご覧ください。

場七とは

「場七」は共同スタジオ、コミュニティスペース、住居など複合的な機能を持つアトスペースで、愛知県岩倉市の民家を借りて運営しています。場七では、個々の活動から生まれる「知識の交換」と「企画し実践する」を重視しており、現在の参加メンバーは美術に限らず様々な専門性のある10名が在籍中です。
「知識の交換」と「企画し実践する」を実行する手段としては、「部活」を場七内でそれぞれのメンバーが立ち上げたり、外部向けのトークイベントなどを行っています。
また、食事や談話を通じた交流の場としても日頃から使用し、このような活動を通して理論と実践の双方を育み、場七に関わる人々にとって有意義な場となることを模索しています。



会期中にはイベントも開催予定です。最新情報はSNSやWEBサイトをご確認ください。

